

# 第三波の流行に抗して「いのちと地域経済」を守る提案

## 日本製紙釧路工場の撤退にストップを

### 共産党は商工会議所作成の署名にも全力で

日本製紙釧路工場が製紙・パルプ業務から来年8月をもって撤退すると表明して以来、日本共産党は工場存続を求めて運動しています。スーパーフクハラや生協前で、商工会議所が呼びかけた再考を求める署名にも取り組みました。共産党が集めた800人の署名を含め、約8万筆の署名を携えて市長は再度、社長と面談しました。



### 市長の不退転の決意と大企業の社会的責任

一般質問では、「釧路工場は殆ど地元採用の人です。定年までずっと釧路工場で働けると思っていた人が大半です。突然、転勤と言われても『家をどうするか、親をどうするのか』となると簡単に決められませぬ。」「早期退職する人には退職金の上乗せがあります。退職する人も多いのではないのでしょうか。」などの声を紹介、「工場存続を求め最後までリーダーシップを発揮することがこれほど求められているときはない」と市長に決意を迫りました。  
大企業は労働者の雇用を守るとともに、地域の経済も支えています。これを無視して、どんな判断を下しても構わないということではありません。何よりも大企業としての社会的責任が問われています。



### 稼働したPCR検査センター

#### 検査の対象者拡大を求める

11月末には、釧路市内にPCR検査センターが稼働しました。大きな前進ですが、対象者は医師が検査を必要とした患者や、保健所が特に検査が必要と認めただけで、それ以外は検査できません。一日も早く新型コロナを収束させるためにも、自治体独自で医療従事者・高齢

者・障がい者・幼稚園・保育園・小中学校の児童・生徒など、一斉にPCR検査を拡充することが必要です。  
函館市では12月1日以降の介護施設の入所者を対象に、PCR検査を無料で行っており、釧路市でも同様の取り組みを行うよう求めています。

### 18歳までの入院費無料化実現へ

#### 通院費も強く要請

共産党議員団は、子どもの医療費無料化拡充を求める提案を繰り返し要望してきましたが、12月議会でもようやく制度設計の中身が報告されました。その内容は18歳に達する年度末までの「入院」に係る医療費を、来年8月から無料化するというものです。

では、全国一律の制度であるべきで、全国市長会を通じて国に要請している。」と答弁。これに対し西村議員は「子どもの医療費無料化を求める運動は50年も前から起きているがいまだに続いている。国はややる気がないと思えない」と強く反論しました。これからも18歳までの通院費無料化実現を求めていきます。

確かに今より前進ですが、厚労省の調査では、入院通院とも中学校卒業まで無料化している自治体が最多で、いわば全国標準。前進したとはいえまだ見劣りするレベルです。  
西村雅人議員は市長総括で、「通院費の拡充が全く進んでいない」とただしました。蝦名市長は「通院費の拡充につい

ては、全国一律の制度であるべきで、全国市長会を通じて国に要請している。」と答弁。これに対し西村議員は「子どもの医療費無料化を求める運動は50年も前から起きているがいまだに続いている。国はややる気がないと思えない」と強く反論しました。これからも18歳までの通院費無料化実現を求めていきます。



PCR検査や子どもの医療費無料化の拡充などを次年度の予算に盛りこむよう要望



# 明らかになった市政の二つの「問題点」

(2021年)

教育委員会は、老朽化のすすんでいる「学校給食センター」について市内全域をカバーする新たな「センター方式」ですすめ、建設地は現・給食センター（貝塚3丁目）の南側の民有地の購入を検討していることを明らかにしました。今回の構想は大きな問題点がいくつもあります。工藤まさし議員は、岡部教育長に再考するよう、強く求めました。

## 1 新たな給食センターを市が検討！

〈市議団が指摘し提案〉

- ❶ 新しい給食センターから阿寒湖までの配送時間は最低でも80分掛かり、90分で届かない可能性がある。
- ❷ 建設予定地は巨大津波で3～5mの浸水が予想され、津波のリスク回避ができない。
- ❸ 少なくとも旧釧路市内に2か所、阿寒1か所、音別は別の給食施設を整備すべき。

## 2 「膨らむ事業費、減るベッド数」

### ～市立病院「2度目」の基本計画を公表

一昨年、釧路市が設計業者を相手に提訴した「市立釧路総合病院の新棟整備問題」。いまだ係争中です。そんな中、12月議会に新たな基本計画案が示されました。

前回の計画と比べると、総事業費が約1.5倍、設計費は1.7倍と膨らんでいます。新棟の規模や機能が大きく変わったのでしょうか？計画案を見る限り、「不明」です。事業費の裏付けとなる収支計画では、18年間連続赤字。黒字になるのは2045年です。（前回の計画では開院8年後に黒字でした）。事業費が膨らむことで、病院経営の見通しが心配です。

その一方、ベッド数は、現在より100床以上減らす計画であり、もともと余裕をもったベッド数と医師や看護師の体制を確保することが必要です。今後、新型コロナウイルス感染症対応を柱の一つに加える等、基本計画の内容を議論していきます。

#### 事業費比較

	前回の計画	今回の計画
設計費	4億3200万円	7億2600万円
新棟建設工事費	173億5900万円	234億円
合計	254億円	376億円

#### 総病床数

	前回の計画	今回の計画
現在	600床	535床
643床		

## 3 コロナ禍でいま、水道料金の値上げですか？

平成30年4月に値上げとなった水道料金。釧路市は更なる改定（値上げ）に向け、1月に上下水道審議会を開催し諮問します。そして、早ければ3月には答申が出され、議会審議を経て、来年4月実施を想定しています。

新型コロナウイルスの影響が続き、市民の暮らしも営業も大変な状態です。更には、4月には介護保険料が値上げです。どう考えても、いま、来年実施に向けて水道料金改定（値上げ）を議論すべきではありません。

経済建設常任委員会の審査において「資金不足が生じるので、水道料金も含めて協議してもらおう」と説明がありました。しかし、前回、値上げ抑制のために「一般会計から13億7、200万円の出資」を活用した点をただすと、あくまでも「審議会でも検討」と言うだけ。

また、前回の値上げによる市民生活への影響も検証されていません。市議団は、2月議会にむけて市民との対話を進めます。



## 「今こそ少人数学級を」

### 意見書を提案

共産党議員団は、「少人数学級の拡充を実現するため教職員の定数を改善するよう要望する意見書」を12月議会に提案しました。意見書は本会議にかけ、前に、幹事長会議で各会派の意向が出されます。今回の意見書は道議会でも可決されたものだけに、釧路市議会でもそうなると思われるかもしれませんが、賛成は共産党と市民連合のみ。このまま本会議で決をとつても不採択が確定になったため、取り下げをしました。与党派の中には、道議会でも可決したことさえも知らない無関心の議員も。議会で否決された訳ではないので、再チャレンジです。

## 市民の陳情は不採択

今議会では市内の労働組合より、「教職員の變形労働時間制を導入しないことを求める陳情」、「保育士などにも慰労金支給を求める陳情」の2本が提出されましたが、どちらも共産党、市民連合のみの賛成で、不採択。議会の多数派も市民の願いに背を向ける姿があらわになりました。